

分かるでしょう、フジタ、私たちはふたりとも天才です。  
この絵もいずれルーヴルに飾られるでしょう

# Léonard Foujita et Ses Modèles

## レオナルド・フジタと モデルたち

2016 2017  
9月17日(土)～1月15日(日)

開館時間：9:30～17:00 (入館は16:30まで)  
休館日：月曜 (9/19、10/10、1/9は開館)、9/20、10/11、12/25～1/2、1/10  
入館料：一般1,300円 (1,100円)、学生・65歳以上1,100円 (900円)、  
小中高600円 (500円)※( )内は20名以上の団体料金

主催：DIC株式会社  
特別協力：ミューゼ・メゾン＝アトリエ・フジタ、エソヌヌ県議会  
企画協力：株式会社キュレイターズ  
後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本  
千葉県 千葉県教育委員会 佐倉市 佐倉市教育委員会  
協賛：日本貨物航空 日本航空

**DIC川村記念美術館**

Kawamura Memorial DIC Museum of Art

千葉県佐倉市坂戸631 Tel. 0120-498-130





# Léonard Foujita et Ses Modèles レオナルド・フジタとモデルたち

日本からフランスに渡り、「乳白色の下地」と呼ばれる独自の画面によって、両大戦間のパリで一躍時代の寵児となったレオナルド・フジタ（藤田嗣治 1886-1968年）は、ヨーロッパ近代の美術の歴史において最も成功した日本人芸術家といえるでしょう。フジタは多様な主題・ジャンルでその才能を発揮しましたが、彼の画業の中心を占めるのが人物を描いた絵画であることに疑問の余地はありません。他の芸術家の場合と同じように、フジタは職業モデルを雇ってポーズの研究を行い、社交界の名士や裕福なブルジョワから注文を受けて肖像画を制作したほか、時には家族や親しい友人を画面に登場させることもありました。描かれた「モデルたち」を、そのプロフィールや制作の経緯、関連する出来事とともに振りかえるとき、そこにはフジタを取り巻く人的環境と、人物という主題を通して取り組んだ造形的問題というふたつの背景が浮かび上がります。本展は、初期から晩年までの約90点の作品を、描かれたモデルに関連する書簡や写真などの資料を交えて紹介することによって、フジタの思考とモデルに注ぐまなざしを再検討するものです。またフランス、エソンヌ県の特別協力により、フジタがモデル研究の集大成として群像表現に挑んだ4点の壁画を展示いたします。



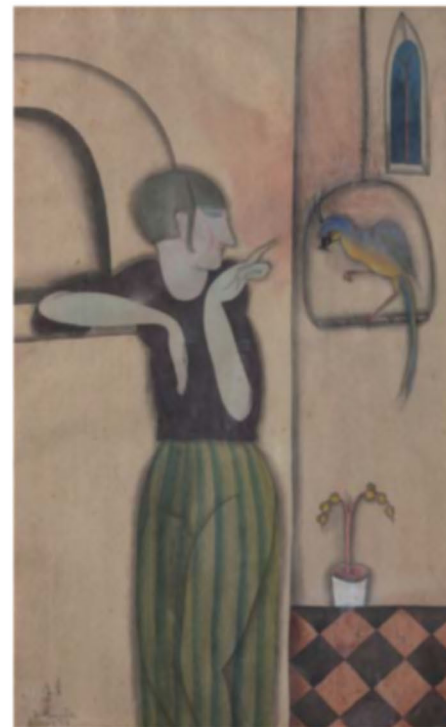
《自画像》1936年 油彩、カンヴァス 127.7×191.9cm (公財)平野政吉美術財団



《眠れる女》1931年 油彩、カンヴァス 74.4×125.0cm (公財)平野政吉美術財団



《私の夢》1947年 油彩、カンヴァス 65.5×100.0cm 新潟県立近代美術館・万代島美術館



《フェルナンドとオウム》1917年 水彩、紙 36.0×22.0cm 個人蔵(フランス)



《タピスリーの裸婦》1923年 油彩、カンヴァス 126.0×96.0cm 京都国立近代美術館 [展示期間:12月中旬(予定)~1/15]



《角力》1934年 水彩、紙 169.0×82.0cm (公財)平野政吉美術財団



《ジャン・ロスタンの肖像》1955年 油彩、カンヴァス 100.0×81.0cm カルナヴァル博物館 © Musée Carnaval et / Roger-Viollet

## 関連プログラム

### 講演会

10月15日(土) 13:30~15:00

原田久美子(公益財団法人平野政吉美術財団 学芸員)

「藤田嗣治と秋田〜マドレーヌ鎮魂の美術館をめぐる〜」

11月26日(土) 13:30~15:00

佐藤幸宏(美術史家、本展監修者)

「フジタと裸婦—乳白色のヌードから群像表現へ—」

いずれも予約不要 | 定員50名 |

レクチャールームにて開催(13:00開場) | 入館料のみ

### 担当学芸員によるギャラリートーク

9月17日(土)、11月12日(土)、12月10日(土)

予約不要 | 14:00エントランスホール集合 | 定員60名 | 入館料のみ

### ガイドスタッフによる定時ツアー

講演会・ギャラリートーク開催日を除く毎日

予約不要 | 14:00エントランスホール集合 | 定員60名 | 入館料のみ

### ワークショップ「休み時間」

休みA [灯りの消えた美術館で] 11月21日(月:休館日)

休みB [いつもの美術館で] 12月10日(土)

泉イネ(美術家/絵描き)、神村恵(振付家/ダンサー)、

眞島竜男(アーティスト)

詳細・参加方法は当館ホームページで告知します(9月中旬予定)

<http://kawamura-museum.dic.co.jp>

### ふたつのフジタ展 相互割引

府中市美術館の「生誕130年記念 藤田嗣治展 東と西を結ぶ絵画」(10/1-12/11)と本展それぞれのチケット半券を互いの館でご提示いただくと、団体割引料金が適用されます。

### れきはく相互割引

国立歴史民俗博物館の企画展示「身体をめぐる商品史」(10/18-12/18)と本展それぞれのチケット半券を互いの館でご提示いただくと、団体割引料金が適用されます。

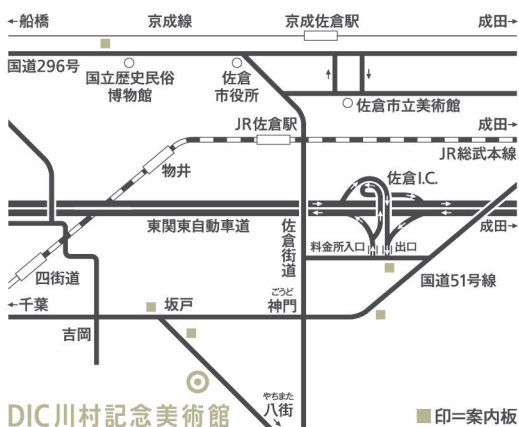
### 表面作品

《アンナ・ド・ノアイユの肖像》1926年 油彩、カンヴァス 167.1×108.4cm DIC川村記念美術館





《ライオンのある構図》1928年 油彩、カンヴァス 300.0×300.0cm ミュゼ・メゾン=アトリエ・フジタ、エソノヌ県議会



DIC川村記念美術館

■印=案内板

### 交通案内

#### ■自動車で

東関東自動車道「佐倉IC」より国道51号を千葉方面へ進み「坂戸」交差点を左折、県道22号線（八街横芝線）を八街方面へ約700m直進右手（約10分）。無料駐車場300台。

#### ■東京駅から高速バスで

八重洲北口から徒歩5分、京成バス3番のりばから「マイタウン・ダイレクトバス」乗車（約60分）

[行き] 東京駅 9:55 発→美術館 11:02 着

[帰り] 美術館 15:29 発→東京駅 16:41 着

料金: 大人片道1,340円 問い合わせ先: ちばグリーンバス 043-481-0808

#### ■東京駅からJRで

総武快速線エアポート成田で「佐倉駅」下車（約60分）、南口の美術館バス停より無料送迎バス（約20分）

#### ■上野駅から京成電鉄で

京成本線特急または快特の成田空港方面行きで「京成佐倉駅」下車（約60分）、

南口（シロタカメラ）前より無料送迎バス（約30分）

#### ■送迎バス時刻表

京成佐倉駅→美術館	8:50	9:10	9:50	10:20	10:50*	11:20	11:50*	12:20	12:50*	13:20	13:50*	14:20	14:50*	15:20	15:50
JR佐倉駅→美術館	9:00	9:20	10:00	10:30	11:00*	11:30	12:00*	12:30	13:00*	13:30	14:00*	14:30	15:00*	15:30	16:00
美術館→JR佐倉駅→京成佐倉駅			10:50	11:20*	11:50	12:50	13:20	13:50	14:20*	14:50	15:20	15:50	16:20*	16:45	17:15

\*印は土・日・祝日のみ運行

歴: 国立歴史民俗博物館経由 佐: 佐倉市立美術館経由 ※左記の館が休館の場合は経由しません

## DIC川村記念美術館

千葉県佐倉市坂戸631 Tel. 0120-498-130  
http://kawamura-museum.dic.co.jp